

# 給与所得のほかに退職所得がある方の記載例(2)

年末調整を受けていない給与所得のほかに特定役員退職手当等を含む退職所得がある場合

## 【第一表】

**手順1**  
5ページ  
参照

申告書第三表  
(分離課税用)  
を使用するため、「分離」の文字を○で囲みます。  
(5ページ参照)

**手順2**  
6ページ  
参照

**手順3**  
11ページ  
参照

00 税務署長 平成 29 年分の 所得税及び復興特別所得税の確定申告書B FA0123

住所 00市△△町X-X-X  
フリガナ コクセイ タロウ  
氏名 国税 太郎  
生 別 国籍 日本  
種 別 職 業 専業主婦  
号 字 種 号 国税太郎 本人  
③ 33.08.16 電話番号 XX-XXXX-XXXX

収入金額等		所得金額		所得から差し引かれる金額	
事業等	①	事業等	①	雑損控除	⑩
農業	②	農業	②	医療費控除	⑪
不動産	③	不動産	③	社会保険料控除	⑫
利子	④	利子	④	小規模企業共済等掛金控除	⑬
配当	⑤	配当	⑤	生命保険料控除	⑭
給与	⑥	給与	⑥	地震保険料控除	⑮
雑	⑦	雑	⑦	寄附金控除	⑯
総合課税・一時	⑧	総合課税・一時	⑧	寡婦・寡夫控除	⑰
合計	⑨	合計	⑨	勤労学生・障害者控除	⑱
				配偶者(特別)控除	⑲
				扶養控除	⑳
				基礎控除	㉑
				合計	㉒

税金		その他	
課税される所得金額	⑳	配偶者の合計所得金額	㉔
上の⑳に対する税額又は第三表の㉑	㉑	専従者給与(控除)の合計額	㉕
配当控除	㉒	青色申告特別控除額	㉖
特定増設等	㉓	各種一時給付/退職金/退職給付等の源泉徴収額の合計額	㉗
住宅借入金等特別控除	㉔	未納の所得税及び復興特別所得税の源泉徴収控除額	㉘
政党等寄附金等特別控除	㉕	本年分で差し引く繰越損失額	㉙
住宅新築等特別控除	㉖	平均課税対象金額	㉚
災害減免額	㉗	変動・臨時所得金額	㉛
復興特別所得税額(⑳×2.1%)	㉘	延滞納の出	㉜
所得税及び復興特別所得税の額(㉑+㉘)	㉙	申告期限までに納付する金額	㉝
外国税額控除	㉚	延滞届出額	㉞
所得税及び復興特別所得税の源泉徴収控除額	㉛	還付される税金	㉟
所得税及び復興特別所得税の額(㉙-㉛)	㉜	還付される税金	㊱
所得税の予定額控除(第1期分・第2期分)	㉝		
所得税及び復興特別所得税の額(㉜-㉝)	㉞		
納める税金	㉟		
還付される税金	㊱		

整理番号 000  
③ 33.08.16 電話番号 XX-XXXX-XXXX

区分 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z

マイナンバー  
(個人番号)を  
記入する必要  
があります。

明治・・・「1」  
大正・・・「2」  
昭和・・・「3」  
平成・・・「4」

**手順4**  
19ページ  
参照

○黒字の場合…  
100円未満の端数を  
切り捨てた金額(黒  
字の金額が100円未  
満の場合は「0」)  
を記入します。

○赤字の場合…  
金額の頭に「△」又  
は「-」をつけてそ  
のままの金額を記  
入します。

**手順5**  
23ページ  
参照

該当する事項  
がある方のみ  
記入します。

**手順5**  
23ページ  
参照

還付される税  
金がある方  
のみ記入します。

○ 記載手順については、この記載例で示している「平成29年分 所得税及び復興特別所得税の確定申告の手引き 確定申告書B用」の該当ページを参照してください。

- ◎ 申告書は複写式になっています。申告書第一表と第二表を折りたたんだまま記入せず、広げるか、中央のミシン線で切り離してから、黒いインクのボールペンで、強く記入します。
- ◎ 2枚目は複写式の控えになっていますが、取り外して使用しても差し支えありません。申告書を提出するときは、2枚目は取り外してください。

- マス目に数字を記入する場合は、記入例①にならって、マス目の中に丁寧に記入してください。
- 1億円以上の金額がある場合は、記入例②にならって記入してください。
- 訂正する場合は、記入例③にならって、訂正する文字を二重線で抹消し、上の欄などの余白に適宜記入してください。

記入例① 縦線1本 すきまをあける 上に突き抜ける 角をつくる 閉じる

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

記入例② 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

記入例③ 800000  
700000

【第二表】

※ 記載例中における社会保険料の金額は、実際金額とは異なります。

手順1  
5ページ  
参照

手順2  
6ページ  
参照

手順4  
22ページ  
参照

手順3  
11ページ  
参照

平成 29 年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書B

整理番号 FA0077

住所 〇〇市△△町X-XX-X  
 支店 コアゼイ タウ  
 フリ氏名 国税 太郎

○ 所得の内訳 (所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額)

所得の種類	種目・所得の生ずる場所又は給与などの支払者の氏名・名称	収入金額	所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額
給与	船料 〇〇産業株式会社	1,569,000	40,410
退職金	退職金 〇〇産業株式会社	35,000,000	4,109,014
所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額の合計			4,149,424

○ 雑所得 (公的年金等以外)、総合課税の配当所得・譲渡所得、一時所得に関する事項

所得の種類	種目・所得の生ずる場所	収入金額	必要経費等	差引金額
		円	円	円

○ 特例適用条文等

○ 事業専従者に関する事項

事業専従者の氏名	個人番号	続柄	生年月日	従事月数・程度・仕事の内容	専従者給与 (控除額)

○ 住民税・事業税に関する事項

扶養親族の氏名	個人番号	続柄	生年月日	別居の場合の住所	寄附金税額控除

○ 事業税

課税所得	課税標準	課税率	課税額

○ 所得から差し引かれる金額に関する事項

控除の種類	控除の事由	控除の年月日	控除を受ける資産の種類など	控除額
⑩ 雑所得控除	損害の原因	損害年月日	損害を受けた資産の種類など	円
⑪ 医療費控除	支払医療費等		保険金などで補填される金額	円
⑫ 社会保険料控除	社会保険の種類	支払保険料	掛金の種類	支払掛金
	国民健康保険	241,398	国民健康保険	241,398
	国民年金	497,856	国民年金	497,856
	国民年金	485,790	国民年金	485,790
合計				1,225,044
⑭ 新生命保険料の計			旧生命保険料の計	102,000
⑮ 介護医療保険料の計			旧介護医療保険料の計	
⑯ 地震保険料の計			旧長期損害保険料の計	
⑰ 寄附金の所在地・名称			寄附金	
⑱ 配偶者 (寡夫) 控除			配偶者控除	
⑲ 扶養親族控除			扶養親族控除	
⑳ 配偶者の氏名	生年月日	配偶者控除	配偶者特別控除	
国税 良子	35.11.23			
⑳ 扶養親族の氏名	続柄	生年月日	控除額	
国税 一郎子	子	4.2.16	38	

第二表 平成二十九年分以降適用 (第二表は第一表と連記して記入する。源泉徴収税、国民年金保険料、国民健康保険料、国民年金保険料の控除額は第一表に記入する。)

控除対象配偶者や扶養親族などのマイナンバー (個人番号) も記入する必要があります。



